

道連ニュース

2019年4月号 No.153

北海道生活協同組合連合会

〒003-0803 札幌市白石区菊水3条4丁目-3

全労済北海道会館内

TEL 011-841-8601 FAX 011-841-8605

URL: <http://www.doren.coop>

～学校現場の厳しさを共有～

～こども食堂北海道ネットワーク第8回交流会開催される～

3月11日(月) 13:30より予定されていた「こども食堂北海道ネットワーク」の学習交流会が全労済会館にて40団体50名の皆さんの参加で開催されました。学習交流のメインとして今回は「中学校」で教鞭をとっておられた柴田講師をお招きして現実の教室の様子が見える様な厳しい現場実態について参加者一同学

ぶことができました。その中で困難を抱える生徒の多様化、信頼する大人との接点の希薄化、職員室での先生達の仕事の質的变化、等々を学び対応の複雑さについてと教師経験を通した柴田先生の思いをお聴きする事ができました。(現在はNPO法人こどもの未来・にじ色プレイス・学習スペースで活動中)



続けた第2部では子ども食堂「りんごの巣」副代表、大澤さんより「りんごの巣」立ち上げの経過や伝えた日本の伝承遊びの実践について報告があり、活動の



中で生き生きと活動する人生の先輩(光^{コウレイシヤ}齢者)の様子が話され、参加者一同“遊び”へのヒントを学びました。

子ども食堂参加者へ向け

5/11(土)「リトルマーメイド」招待企画!

全労済北海道推進本部様より

北海道労済創立60周年を記念する「親子観劇企画」として企画されたミュージカル「リトルマーメイド」への150名招待企画の案内を推進企画課小峰様より頂きました。全900席の内、150席を子ども食堂北海道に参加する子ども食堂運営団体の為に設定をして頂きました。一般応募は先行して受け付けており大人気企画との情報です。応募要領チラシを参照の上、お早目の応募をお願いします。道生協連ではこの間、JA中

央会、北海道労金、全労済、労協協様等々と協働連帯活動、企画をそれぞれの団体の“強み”を生かしながら模索展開をしまっていました。加えて「こども食堂北海道ネットワーク」をサポートしていく中で食品製造事業者様からの「食材提供」も生まれ始めており、まさに“協同”“協働”のネットワーク作り!に、生協、生協連への信頼向上!に繋がっている“コト”!が増え始めております。

雪解けも進み穏やかな天気にも恵まれた3月7日の総代会は、総代、理事、監事そして来賓の皆様のご出席を頂きました。年度末の御多忙にもかかわらず多くの方々のご理解とご協力にあらためて感謝申し上げます。

本年度の総代会は選出総代100名中、出席総代43名と書面議決書合わせて合計87名となり総代会成立の報告後、議事に移りました。



事業報告の中では、自主供給高が5,707万円（前年比104.9%）、斡旋供給高が2億93万円（前年比108.4%）といずれも前年度を上回る報告をすることが出来ました。そのほかの審議事項において子法人の決算概況や次年度の事業計画などが審議され全ての事項が承認されました。長引く景気低迷の影響による購買意欲の低下や児童生徒数の減少、学校数の減少、教職員の多忙化など学校生協を取り巻く環境は依然厳しさの一途を辿っています。これらの課題を受け止め将来展望を切り開いていくためには、今まで以上に心を合わせ一体となって教職員の皆様との信頼関係を深めていかなければなりません。私たち学校生協は長期的視点に立って学校生協運動に参加しやすい体制づくりと事業内容の再構築、新しい分野への積極的な取り組みを進めていかなければなりません。網走四地区学校生活協同組合の特徴である学校訪問と対面販売を生かした商品提案、現物PRなどによる営業力・企画力の強化により多様化する組合員のニーズに答え継続的に魅力ある学校生協として前進しなければなりません。

北海道生活協同組合連合会 臨時道連理事会報告

2019年3月12日(火) 『コープ2018北海道地震ボランティア応援基金』の創設に伴う北海道NPOファンダへの委託契約』について、持ち回りによる臨時理事会にて議決しました。

1月24日理事会でご承認いただいた「2018年度北海道胆振東部地震支援募金の取り組み報告と支援金第2次配分方法」に基づき、支援募金の一部900万円を認定NPO活動法人北海道NPOファンダに委託し、3年間の活動助成基金の創設を行う募集要綱及び業務委託契約・委託費の支払いに関するものです。

本募金は、北海道生活協同組合連合会が主催する活動によるものであり、北海道生活協同組合連合会が主催する活動の一部を助成いたします。

コープ 2018年北海道地震 ボランティア 応援基金

NPOや、協同組合、学校法人などの公益財団法人やボランティア団体による平成30年北海道地震(いづり)震源地帯災害に対する支援活動や、被災された地域の生活支援・まちづくり活動(被災への取り組みを含む)に対して助成を行います。

2019年4月 助成公募開始 2019年 募集期間 4月1日(月)~30日(火)

助成対象	助成総額
北海道内に拠点を置き、平成30年北海道地震(いづり)震源地帯による災害の支援活動や、被災された地域の生活支援・まちづくり活動(被災への取り組みを含む)を行うNPO法人、学校法人、協同組合、ボランティア団体等。法人格・活動事業は不問ですが、団体として申請ください。また、本助成金については、専横、むかわ、安平に限りまして活動する団体の申請を歓迎いたします。	2019年度から3年間で総額900万円 2019年度は、概ね300万円を助成します。 50~100万円(4~5団体)、30万円(10団体)程度を想定しています。 継続申請に際しては知照はありませんが、毎年同じように申請してください。
応募方法	対象事業実施期間
応募要綱に活動内容、活動期間を添付してご申請ください。 申込締切日は、2019年4月1日(月)0時~1時です。 http://hokopopco.jp/846/aido/page_id=521	2019年4月1日以降の活動が対象です。